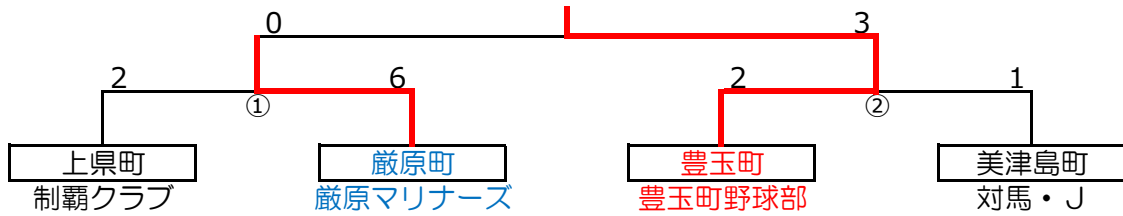


第72回 長崎県民体育大会軟式野球競技会 対馬市予選会

会期 令和3年9月12日(日)
会場 美津島野球場



豊玉町野球部は平成15年大会以来、18年ぶり5回目の優勝。
11月13日～14日に佐世保市/平戸市で開催の第72回県民体育大会に対馬代表で参加する。

①【一回戦】08:58～ 1時間26分

制覇クラブ	110	000	0	2
厳原マリナーズ	320	100	X	6

【本】小宮、神宮
【二】小西

制覇クは初回二死後に小宮がレフトポール際にオーバーフェンスして優位に立ったが、その裏のマリナーズは三飛失からの二死二塁に坂上が左に同点打。捕逸二進後に神宮がレフトフェンス越え2ランで勝ち越すと、1点差に迫られた二回は死四球の一三塁から三ゴロ悪送球で二走が還り、続く一死二三塁に小山の三ゴロ一塁送球の間に三走が還り3点差を付けた。三回は死球と内野安打を井上の投犠打で一死二三塁と攻めたがここは後続無し。四回のマリナーズは先頭古藤の中安打から犠打と三盗の一死三塁に三ゴロ本塁挟殺プレイが本塁への悪送球により加点した。

二回の制覇クは先頭小西が左中間二塁打。二死後に四球の一三塁に三ゴロ一塁悪送球で1点を返したが、三回以降は四回先頭の四球走者が出ただけに終わった。

【制覇クラブ】 打安点球 【厳原マリナーズ】 打安点球

65 春田 一馬	3 0 0 0	8 武本龍太郎	3 0 0 1
4 井村 昭洋	3 0 0 0	9 古藤真之祐	4 1 0 0
2 小宮 直人	3 1 1 0	7 小山 耕平	3 1 1 0
8 白石 勝太	3 0 0 0	2 坂上 海翔	3 1 1 1
56 小西 清弘	2 1 0 1	3 神宮大司朗	3 1 2 0
1 高原 吉弘	2 0 0 0	H3 若杉 諒	1 0 0 0
1 築城 陽聖	1 0 0 0	5 阿比留隆太	2 2 0 1
3 梅野 響平	3 0 0 0	H 瀬谷 友啓	1 0 0 0
7 国分祐太郎	2 0 0 1	5 鬼橋 佑介	0 0 0 0
9 山下 祐喜	2 0 0 0	6 西山 開斗	3 1 0 0
犠0振8残3併0	24 2 1 2	4 井上 智仁	1 0 0 1
		1 山本 卓	1 0 0 1
		犠3振5残9併0	25 7 4 6

【審判】松尾吉範、川崎仁、藤島隆之、中島重幸

②【一回戦】10:44～ 1時間34分

対馬・J	010	000	0	1
豊玉町野球部	010	010	X	2

【三】樋口

先取点は二回の対馬J。一死後に連続四死球と坂上の遊内野安打の満塁に一宮が左線打。続く得点機は遊ゴロ本封と一ゴロ。三回以降は代った横瀬に対して六回まで毎回の1安打5四球走者を出し、二度の得点機を作ったが後続が無く10残塁を喫した。

豊玉町野球部は初回に先頭安打と敵失で一死二三塁と攻めたが無得点。二回に先頭死球からの二死二塁に樋口が右線に同点三塁打。五回には先頭の糸瀬が悪送球で出塁し二盗後の二死から阿比留の右前打で還り、これが決勝点。六回にも二死後に犬東の中前打、代打村瀬が右前打と連打し一三塁と追加点機を作ったが三ゴロに倒れ、1点差の勝利となった。

【審判】波多野幹治、藤島隆之、西川典夫、高原吉弘

【対馬・J】 打安点球 【豊玉町野球部】 打安点球

6 一宮 努	3 1 1 0	4 長岡 亮	3 1 0 0
1 井 浩	3 0 0 1	5 阿比留直樹	3 1 1 0
3 村井 英哉	3 1 0 1	6 市山 和希	3 0 0 0
5 小島 一輝	3 0 0 1	39 斎藤 公敬	3 0 0 0
8 財部 仁	4 0 0 0	8 梅野 譲治	3 0 0 0
9 小島 和豊	2 1 0 1	7 犬東 伊理	2 1 0 1
7 黒岩 到	1 0 0 2	9 清野賢士朗	1 0 0 0
4 多田 直樹	1 0 0 2	9 築城 公則	1 0 0 0
2 坂上 仁志	3 1 0 0	H3 村瀬 裕亮	1 1 0 0
犠1振1残10併0	23 4 1 8	2 村瀬 新吾	0 0 0 0
		2 糸瀬 慎吾	2 0 0 0
		1 樋口 和	1 1 1 0
		1 横瀬 弘樹	1 0 0 0
		犠1振3残6併0	24 5 2 1

斜体字は補強選手

【決勝戦】12:41～14:11 1時間30分

厳原マリナーズ	000	000	0	0
豊玉町野球部	000	120	X	3

【二】阿比留隆

豊玉町野球部が補強選手の活躍で2年ぶり6回目の県民体育大会出場を目指す厳原マリナーズを封じて快勝した。

三回までの豊玉は二回を除いて2個ずつの四球走者を出したが効果打無く迎えた四回。先頭の斎藤が右へ初安打。犠打と暴投で三進後に二死から3連続四死球で押し出しの先取点。五回に代わった阿比留に対しても先頭が四球。市山が左前打の一三塁に捕逸で二三塁。横瀬の左前打で犬東が、3連打となる斎藤の右安打で市山が還り3点差を付けた。続く無死一二塁を阿比留の2個目の投犠打で二三塁としたが後続無し。六回にも先頭から3連続四球の無死満塁もクリーンアップが一飛、三ゴロ本封、一直に倒れて絶好の追加点機を逸した。

厳原マリナーズは2安打3四死球の走者が三塁を踏めず、得点機は二回一死後に阿比留の左線二塁打。五回は二死後に安打の瀬谷が二盗。六回と七回には死球走者が二進したのみ。

【厳原マリナーズ】 打安点球 【豊玉町野球部】 打安点球

8 武本龍太郎	3 0 0 0	6 長岡 亮	1 0 1 3
5 鬼橋 佑介	2 0 0 0	7 犬東 伊理	0 0 0 4
H59 古藤真之祐	0 0 0 1	1 市山 和希	3 1 0 1
7 小山 耕平	3 0 0 0	3 横瀬 弘樹	4 1 1 0
2 坂上 海翔	2 0 0 1	9 斎藤 公敬	4 2 1 0
315 阿比留隆太	2 1 0 1	5 阿比留直樹	1 0 0 0
1 若杉 諒	1 0 0 0	2 糸瀬 慎吾	3 0 0 0
H3 井上 智仁	2 0 0 0	8 梅野 譲治	2 0 0 1
6 西山 開斗	3 0 0 0	4 樋口 和	1 0 0 2
4 瀬谷 友啓	2 1 0 0	犠2振3残11併0	19 4 3 11
1 山本 卓	0 0 0 0		
94 原田 育弥	2 0 0 0		
犠0振6残4併0	22 2 0 3		

斜体字は補強選手

【審判】川崎仁、松尾吉範、中島重幸、西川典夫



平成15年大会以来、18年ぶり5回目の県民体育大会出場を決めた『豊玉町野球部』。
本予選会での町内チームから参加した補強選手は、ドンジャースから3名、豊玉サンライズから2名。

県民体育大会での、対馬代表チーム年度別戦績表 (○数字は回戦 ③は準決勝 ④は決勝)

S.39	チーム名不明 ①	S.58	上県クラブ ①②③④	H.14	上対馬メッツ ①②③
S.40	上対馬町 不明	S.59	上対馬ニュー北斗 ①	H.15	豊玉町野球部 ①
S.41	玄海体育祭開催年で不参加	S.60	美津島マーシャルズ ①	H.16	豊玉サンライズ ①
S.42	厳原町 ①以下不明	S.61	上対馬ニュー北斗 ①②	H.17	厳原レパーズ ①
S.43	玄海体育祭開催年で不参加	S.62	豊玉クラブ ①②	H.18	上対馬クラブ ①②→中止
S.44	長崎国体開催年=不参加	S.63	豊玉クラブ ①②③	H.19	制覇クラブ ①
S.45	厳原町 ①②	H.元	美津島マーシャルズ ①②	H.20	豊玉サンライズ ①②
S.46	玄海体育祭開催年で不参加	H.2	上対馬クラブ ①	H.21	制覇クラブ ①
S.47	厳原町 ①	H.3	美津島マーシャルズ ①	H.22	厳原マリナーズ ①
S.48	厳原(親和会キング) ①②③④	H.4	上対馬ライオンズ ①	H.23	厳原マリナーズ ①②
S.49	厳原町 雨天中止	H.5	上対馬ライオンズ ① →中止	H.24	厳原マリナーズ ①
S.50	上対馬町 ①	H.6	上対馬ライオンズ ①②③	H.25	厳原マリナーズ ①
S.51	上対馬町 ①②	H.7	豊玉町野球部 ①②	H.26	長崎国体のため休会
S.52	厳原マックス 不明	H.8	上県佐護リパース ①	H.27	制覇クラブ ①
S.53	上対馬漁協 ①	H.9	上対馬クラブ ①②	H.28	制覇クラブ ①②③
S.54	豊玉町 ① →中止	H.10	豊玉町野球部 ①②	H.29	制覇クラブ ①
S.55	上対馬クラブ ①②	H.11	上対馬メッツ ①	H.30	ドンジャース ①
S.56	厳原海王 ①②③④	H.12	厳原レパーズ ①	R元	厳原マリナーズ ①②
S.57	厳原海王 ①	H.13	豊玉町野球部 ①②③④	R2	厳原ブラボー ①

昭和48年の戦績	昭和56年の戦績	昭和58年の戦績	平成13年の戦績
親和会キング=準優勝	厳原海王=準優勝	上県クラブ=優勝	豊玉町野球部=準優勝
【一】 ○ 不明	【一】 1-0 杵岐(勝本北星)	【一】 4-3 平戸(平戸クラブ)	【一】 3-0 福江(メンフツズ福江)
【二】 ○ 不明	【二】 1-0 南松浦(奈良尾クラブ)	【二】 3-1 東彼杵(波佐見コスモス)	【二】 1-0 大村(大村市役所)
【準】 1-0 平戸市	【準】 1-0 島原(健友クラブ)	【準】 4-3 北高来(轟クラブ)	【準】 5-3 長崎(長崎市役所)
【決】 0-1 諫早市	【決】 1-5 佐世保(親和銀行)	【決】 3-1 松浦(御厨クラブ)	【決】 0-7 諫早(ソニー長崎)